



2024年9月2日
 聖心女子学院初等科
 校長 大山 江理子
 9月号

夏をふり返って、先を見つめる 子どもも大人も 校長 Sr.大山 江理子

9月の学校生活が始まります。猛暑の夏でしたが、皆様お元気でしたか？子どもたちからたくさん、また保護者の皆様からもお便りをいただきました。ありがとうございました。今年は旅行をしたり、色々な活動に参加したり、動きの多い夏となったことでしょうか。思いがけない出会いもあったかもしれません。お便りから子どもたちの活気が伝わってきました。中には、お子さんと一緒にビーチクリーンのボランティアに参加されて、親子それぞれの感想を送って下さったご家庭もありました。

ご家庭ではどのような対話があったのでしょうか。対話を通して、お子さんの成長を感じられるところがきっとあったことでしょうか。ふり返ってみて、それはどのような時でしたか？

夏休みをふり返ってみると、色々な出来事、気持ちがあったことに気づかされます。6週間前のお子さんと今のお子さん、あるいは、6週間前の「私」と今の「私」。おさんは身長が伸びたり、新しくできるようになったことがあったり、目に見える変化や成長があるでしょう。それを受けとめる、大人の私たちはどうでしょう。

子どもたちと共に、これから始まる忙しい生活への変化に身構えながら、夏の間に味わった感動をしっかりとつかまえておきたいものです。ふり返りは大人の私たちにも大切です。と言うのも、ふり返りは自分にとって大事であったことに光をあて、これからの行く先を方向づける道しるべとなってくれるからです。

学校ではこの夏にいくつかの工事を行いました。初等科2・3年生の教室では床の張り替えを行い、ラジエーターを撤去しました。これまでの木の床はおそらく建築当初からのもので、歴史が詰まったものですが、今回新たなものとしました。これから長く、大切に使用していきたいものです。4年生の教室では黒板を新調し、上下に移動できるものとしました。活発な学習への利用を期待します。3・4年生教室と中央校舎では、エアコン機器の全面交換をしました。より快適な教室となりました。猛暑の日々に作業をしてくださった工事関係の方々に感謝しています。

だんだん涼しくなることを期待しながら、秋の学校生活が実り多いものとなることを願っています。

～夏休み中の工事で美しく変身！！～



←2・3年生教室床



4年生可動式黒板→

9月の行事予定

2日(月) 9月の会、3・4限平常授業
 5日(木) 月曜時間割
 10日(火) 5年まとめテスト①
 11日(水) ～13日(金) 6年校外学習
 16日(月) 敬老の日

18日(水) 泉の会代表幹事会
 22日(日) 秋分の日
 23日(月) 振替休日
 26日(木) 午前授業
 27日(金) 1～3年遠足
 30日(月) 午前授業

※10月1日(火) 都民の日

愛されている実感から育つ 「諦めない心」「挑戦する心」 副校長 中塩 百合

長い夏休みが終わり、学校に子どもたちの賑やかな声が戻って来ました。子どもたちの少し大人びた顔を見ると、それぞれご家族と共に豊かな時間を過ごしたことが伝わってきます。

今夏は、パリでオリンピックが開催され、先週からはパラリンピックが始まりました。3年前の東京オリンピックはコロナ禍の開催で無観客でしたので、観客の大きな声援が戻り選手の大きな支えになっているのを感じます。毎日眠気と戦いながらテレビ観戦をしていると報告してくれた子どもがいますが、限界に立ち向かう姿に魅了され、私も子どもたちと同じようにつつい応援に力はいってしまいました。

3年前の聖心だよりに、米国聖心の卒業生で、競泳選手としてロンドンから3大会連続して出場し、7つの金メダルと3つの銀メダルを獲得したケイティ・レデッキー選手のことを紹介しました。レデッキー選手はパリオリンピックでも活躍し、全競技を通じて女子選手の最多記録に並ぶ9個目の金メダルを獲得しました。2028年のロサンゼルス五輪にも出場する意志を表明しています。「諦めない心」を勝利の鍵にあげる選手は多くいますが、スポーツ競技だけでなく、どんな場面でも自分の弱さに打ち勝って一歩ずつでも前に進める力を子どもたちには身につけてほしいと願います。

自己肯定感や自制力、他者と協力できるコミュニケーション能力などの「非認知能力」はグローバル化、情報化、人工知能の発達など変化の多い現代社会に求められる知性と言われ、研究が進んでいます。「諦めない心」「挑戦する心」もそのひとつでしょう。目に見えない、計測できない力ですが、その根っことなるのは子ども時代の「自分は愛されている大切な存在」「人を信じてよい」という自分と他者への信頼感です。言葉の力は良くも悪くも子どもたちの心に届きます。私たち大人がどのような言葉をもって、そして何を意識して子どもたちと関わっていくとこれからの時代を生き抜く力を養えるのか、皆様と一緒に考えていきたいと思えます。

聖心の教育方針である「魂」「知性」「実行力」は、3つの柱がしっかり支え合い繋がりながら子どもたちの力を育てます。9月からも一人一人の子どもが知的好奇心をもって友だちと共に生き生きと学び、自らの考えをしっかりと行動に表すことができるよう、その土台となる心を「祈り」を通して育んでまいります。

- ◇ 認知能力・・・計算力や語学力といった学力テストなどで測れる能力
 - ◇ 非認知能力・・・コミュニケーション力や意欲、忍耐力など、数値での測定が難しい能力
- OECD(経済協力開発機構)では、非認知能力を「社会情動的スキル」として位置付け、3つの要素を軸として示しています。
- 目標の達成：忍耐力・自己抑制・目標への情熱
 - 他者との協働：社交性・敬意・思いやり
 - 情動の制御：自尊心・楽観性・自信
- ◇ 社会情動的スキルは、認知能力と相互に作用し、主に4歳～5歳の幼児期に大きく発達します。そして、学童期・思春期に伸びていきます。(「みんなの教育技術」より)

～児童の夏のお便りから～

